

Ono's Desk

雹か霰か

6月24日、既に夏なのに、東京で巨大な雹が落ちてきた。大きさ2、3cmを超えたという。ちなみに大きさ5mm以上を雹、5mm未満を霰という。上昇気流を伴う積乱雲の中でこれらが出来るので、雷を伴うことが多い。調布市や八王子などで極めて限局性に雹が降り、流水のように流れるさまはまさに天変地異の様相であった。何やら地球がおかしいが、世界で最も大きな雹は1917年熊谷市に降ったかぼちゃ大のものだそうだ。

山頭火の句に「鉄鉢の中へも霰」がある。編み笠をかぶり、軒先でお経を唱える山頭火の抱える黒ずんだ鉢に白い霰が音を響かせて落ちてきた。金子兜太が「山頭火が追い求めた「空」への手がかりを掴めた瞬間」と論じた。今回の巨大な雹ではさすがの山頭火も逃げ出したに違いない。

7月・8月の主な行事予定

| | |
|-----------------|---|
| 7月1日(火)～15日(火) | 大邱保健大学交換研修生7名受入れ |
| 5日(土)～10月25日(土) | 大邱保健大学研修生(OT) 1名受け入れ |
| 6日(日) | 進学ガイダンス2014(大学コンソーシアム熊本):崇城大学 |
| 19日(土) | 大学院修士学位論文中間発表会、西里駅清掃 第34回全国高校生クイズ南九州大会 |
| 20日(日) | 第1回オープンキャンパス |
| 8月1日(金) | 助産別科・臨地実習適格認定書授与式 |
| 4日(月) | 業務改善事例発表会(事務職員研修) |
| 10日(日)～20日(水) | GSLP(大邱保健大学)に本学学生5名派遣 |
| 11日(月)～15日(金) | 職員夏期休暇 |
| 19日(火)～20日(水) | 職員旅行 |
| 21日(木) | 個人情報・情報セキュリティ合同研修会 |
| 26日(火) | 第1回FDセミナー |
| 28日(木)～29日(金) | 合同職員研修:主任・管理職研修 |
| 30日(土) | 西里駅清掃 |
| 31日(日) | 第2回オープンキャンパス |

*

*

進路指導者向け進学説明会

6月26日(木)に進路指導者向け進学説明会を行いました。64校72名の進路指導者の方々にお越しいただきました。本学及び入試の概要



説明の他、廣瀬教授と寺本准教授による公開講座「本学における国家試験対策と就職支援について」や、希望者を対象とした校舎見学会を行いました。

基礎セミナー合同発表会

7月16日(水)に基礎セミナーの合同発表会(ポスター発表・口頭発表)を行いました。医療、文化、食物等、様々なテーマで発表を行いました。他学科の学生との交流も、チーム医療の基礎となる良い経験



になったのではないのでしょうか。

第4回MTシンポジウム

7月15日(火)～17日(木)にコケン(タイ)で、第4回MTシンポジウムが開催され、安楽健作講師が、“Design and synthesis of phosphatidylinositol derivatives blocking the HIV replication process”について発表しました。また、石



原センター長も、“Professional status of MT & PT”についてパネリストとして発表しました。今回のシンポジウムは、コケン大学の医学部第36周年記念と合同での

開催であった為、松原誠仁講師も“Effects of Thai massage on Gait”というテーマでコケン大学との共同研究の成果について発表しました。次回は、大邱保健大学で行う予定です。



第1回オープンキャンパス



保護者のための説明会



校舎見学会



全体説明



大学案内
学科紹介



在学生との
交流コーナー

レストラン

進学相談
奨学金/
アパート相談
コーナー



医学検査学科



共通教育センター



看護学科



助産別科



理学療法学専攻

リハビリテー
ション学科



生活機能療法学専攻



言語聴覚学専攻



7月20日(日)に、第1回オープンキャンパスを実施しました。当日は、蒸し暑い気候となりましたが、過去最高の1,010名(昨年7月は、1,002名)もの方々にご参加いただきました。中には遠方から長時間かけて来られた方もいらっしゃいました。大変有難く思います。当日は、教職員・学生が丸となって、活気あるオープンキャンパスとなりました。

次回のオープンキャンパスは、8月31日(日)に予定しています。参加者の方々に、本学の魅力が充分伝わるように、引き続きご協力お願い致します!

大邱保健大学交換研修

7月1日(火)～15日(火)に大邱保健大学の交換研修生7名を受入れました。大邱保健大学からは、これまで医学検査学科で2名を受入れていましたが、今年度から看護学科とリハビリテーション学科でも受入れることになり、それぞれの学科に分かれて病院見学・講義受講・日本語研修・日本文化等を体験してもらいました。研修生は、常にハングルクラブ等の学生達に囲まれていて、積極的に交流を深めている姿が大変印象的でした。



Global Field Practice Program

7月5日(土)から大邱保健大学のOT2年生のJung Soheyon(ジョンソヒョン)さんを研修生として受け入れています。このプログラムは、日本語の習得の他、日本のOT分野のシステムや技術について学ぶ事が目的です。約4ヶ月間本学で研修を受ける予定です。

